

講評

001 『海があって夕日がきれいでよかった!』 瑛太

<良い点>

太陽光（とその反射）の色味が良く、暖かみも感じられます。

<改善点>

手前（下）の暗部が広すぎて視線を持っていかれてしまうので少し狭くしましょう。左端の水面に抜けている植物が少しやかましいのでその部分を入れないようにしましょう。ただ太陽の位置は左右の中心付近が良いのでその分右もトリミングしましょう。

002 『winter garden』 ten

<良い点>

露出がとても良く、優しい白が表現できている。ピンクのグラデーションも美しい。

<改善点>

雫があることの良さが感じられないのが残念です。これだと雫がない方が被写体の美しさをストレートに伝えられていたかなと思います。雫を使うならしっかり雫に意味を持たせてあげられるような撮影にチャレンジしてみてください。

003 『forest sprites』 ten

<良い点>

背景の露出や色味がとても良く、そのおかげで見てもらいたい部分をしっかりフォーカスできています。

<改善点>

白い前ボケがやかましく視線を持っていかれてしまいますので、違和感がない優しい前ボケにしてあげましょう。

004 『至福のひととき』 ten

<良い点>

メインの複雑さに対しとてもスッキリした背景を持ってこれているので、視線が迷わずストレートに作品の表情が伝わってきます。

<改善点>

動物の眼がしっかり写し込めていればもっと生命感が伝わってきて、作品により重みが出せたと思います。

005 『花のゆりかご』 ten

<良い点>

切り取り方が面白く見ていて楽しくなる作品です。撮影角度が良いので奥行き感もあります。

<改善点>

手前（下）の前ボケがやや暗く、ほんの少しだけ広すぎるかなと感じます。そこを改善すればさらにメインが生きてくるでしょう。

006 『雨の日のおくりもの』 ten

<良い点>

シンプルな背景のおかげで、濃い紫の美しさと雫の透明感が伝わってきます。

<改善点>

ふんわりさせすぎてしまったせいか、全体的な印象が少し弱く感じます。もう少しクッキリさせても良かったかなと思いました。

007 『夜明けを運ぶ鳥・太陽を連れてきた』 みなみ

<良い点>

太陽の露出がとても良く、そのおかげで周りもとても良い塩梅で明暗が感じられます。

<改善点>

手前の浜の部分にも太陽光が当たっていて面白い部分ではあるんですが、太陽の大きさや周りとの関係を考えて主張が強すぎて他が弱く感じてしまいます。ここは入れない方が全体としてスッキリまとまるかなと思いました。「引き算」ですね。

008 『うみのなか?』 みなみ

<良い点>

背景がピンクから明るいグリーン、そして深緑と変化があって奥行きを感じます。

<改善点>

前ボケの主張がやや強いので、もう少し弱めてあげましょう。つまりピントを今よりもう少しだけ前に持ってくると良かったかなと思います。

009 『コスモス三姉妹』 みなみ

<良い点>

とても良いアングルで太陽を浴びているお花たちの元気さがしっかり伝わってきます。

<改善点>

右上の明るすぎる部分に視線が持っていかれがちになるので、そこは入れない方が良かったですね。入れなくても十分太陽を浴びている雰囲気は伝わってきますよ。

010 『ゆうやけと観覧車』 みなみ

<良い点>

空のいろんな表情を一枚の中に込められているだけでなく、観覧車という人工物が素晴らしいアクセントとなっているおかげで、よりその空の表情が伝わってきました。

<改善点>

右下の植物（ススキでしょうか？）の存在が少し強すぎて、空の印象を弱めてしまっているの、これは不要だったかなと思います。ただどうしても入らないように撮ることができないなら、逆に縦構図にして観覧車をいれないという撮影方法も面白かったかなと思いました。

011◎ 『そよ風と光と秋のぼら』 りんりん

<良い点>

太陽がしっかり当たっている白も、当たっていない白も、どちらもうまく表現できているおかげで立体感がとても出ていて良いと思いました。主張しすぎない程度に良い色味で構成された背景も美しく、メインを引き立てていると思います。

<改善点>

ほんの少しだけ前ボケが強いかないと感じるので、写真の下部を少しだけトリミングして、今ある前ボケを三分の二程度にすればちょうど良いかなと思いました。

012 『ピンクフレンチレースのお嬢さん』 りんりん

<良い点>

前ボケの使い方がとても良く、メインにしっかり視線の誘導ができていると思いました。

<改善点>

メインのインパクトが少し弱くて主張が足りないなと感じました。もう少し開いた花を選ぶと良かったかなと思います。あとはメインの周りの背景の明るさや色味が少し残念に感じましたので、そこも改善できると良かったかなと思います。

013 『月見の萩』 りんりん

<良い点>

構図も良く、さらに暗部をうまく使うことで立体感のある作品に仕上がっていると思います。

<改善点>

周りの存在感が強いので、それに負けないくらいメインの主張がもっとあれば良かったかなと思います。例えばピントの位置を今より一つか、最前列の花びらにしてみてもいいでしょうか？

014◎ 『ホトトギスと蝶』 りんりん

<良い点>

こんなに可愛い蛾の写真は初めて見ました。つまり蛾以外の部分がとてもうまく構築できている結果ですね。素晴らしい作品だと思います。

<改善点>

特に大きく改善する必要があるところは見当たらないんですが、強いて言うなら写真全体の角度をもう少し斜めにしてあげたほうが（時計回りに少しだけ傾ける）、より安定感のある構図になったかなと思いました。

015 『冬越しのサザンカ』 りんりん

<良い点>

白い優しい背景に、強い色味を配置する。主張がしっかり伝わってくる作品ですね。

<改善点>

ちょっと構図が単調すぎてすぐに見飽きてしまいそうになるので、もう少し角度を付けてあげると良いかなと思います。全体的に時計回りに傾けてあげると良いでしょう。

016 『仲良し』 ひろし

<良い点>

優しくもしっかり色味のある背景になんといってもこの美しい一對の被写体。思わず「これ僕も撮りたい！」って言ってしまいました。撮影角度も素晴らしいです。

<改善点>

それだけにピントが残念すぎます。どこにピントを合わせればこの被写体の良さが伝わるのか、敢えて答えは言いません。とことん時間をかけていろんな場所に意図してピントを合わせながら、正解を見つけてもらいたかったです。それができていれば入選、いや準グランプリだったかもです。

017 『ぶくぶくハート』 ひろし

<良い点>

背景、メインともに優しく仕上げられていて、とても良い雰囲気が出ていますね。うまく引き算もできていて全体的にまとまりのある作品だと思います。

<改善点>

ただ、何かひとつ足りないような…そんな気がします。ちなみに僕ならもう少しだけメインの色味を濃くしてみようかなと思いましたが、正解は一つではないと思いますので、ぜひご自身でしっかり考えてみてくださいませ。

018 『やさしさに包まれて』 ひろし

<良い点>

メインの色味が柔らかくてとても素敵ですね。左の優しい緑も心地よいです。

<改善点>

上の白の色トビが少し強すぎるので、そこをしっかりと抑えると良いでしょう。あと右端のピンクの存在が強すぎて視線が迷ってしまうので、入れない方が良かったかなと思いました。

019 『ビオラの天使』 ひろし

<良い点>

紫の配置がバランス良く、他の色も優しく構成されていて良いと思いました。

<改善点>

雫の活かし方ですね。雫にしっかりと意味を持たせるにはどういう撮影をすれば良いのか、それを考えてながら今後の撮影にチャレンジしてみてください。

020 『なに！？』 ひろし

<良い点>

羽ばたいている鳥をタイミングよく捉えられているし、眼にもピントが合っています。生命感が強く感じられる一枚ですね。背景の青も綺麗です。

<改善点>

せっかくの羽が見切れてしまっているのと、視線の先が狭く構図が窮屈なのが残念ですね。もう少ししっかり周りの空間がある状態で撮影し、トリミングなどで微調整してしっかり構図が作れれば良かったかなと思いました。

021 『春の兆し』 ten

<良い点>

薄桃色の優しい背景に、白い花の色が映えてとても美しいですね。

<改善点>

枝の緑と強めのディテールが少し気になりますね。その部分の主張を弱めてあげられればもっと良かったかなと思いました。

022◎ (グランプリ) 『春爛漫』 ten

<良い点>

グランプリおめでとうございます。大胆かつ繊細な前ボケにまず惹きつけられて、続いてメインの木の存在感に圧倒され、そしてじっと見続けていると奥に向かって徐々に弱まっていくディテールに気付きこの風景がどこまでも続いているような感じにさえしてくれる。間違いなくグランプリに相応しい「奥深さ」を感じる一枚だと思いました。

<改善点>

特に改善点は見当たりませんが、僕ならメインの木を中心ではなく、やや左に配置したと思います。その方がより構図が安定するかなと感じました。ただこれは好みの問題かもしれませんね^^

023◎ 『旅立ち前』 ten

<良い点>

やや右にずらせたことで抜群の安定感のある構図になっています。背景もスッキリしつつ優しいグラデーションが感じられてメインをととても引き立てています。

<改善点>

もう少し絞ってメインのディテールを出してみた方が、よりこの被写体の生命感が伝わったかなと思いました。

024 『長閑な休日』 ten

<良い点>

前ボケの使い方が良いですね。鳥たちの営みを優しく見守っている感じが出ています。リフレクションもハッキリ写っていて存在感があります。

<改善点>

もう少し全体を包むような感じで前ボケが配置できていれば、より作品に深みが出せたかなと思いました。なかなかそういうシチュエーションはないと思いますが、頑張ってみつけていただければと思います。

025 『flower drop』 ten

<良い点>

背景の色味やディテールが優しくて美しいですね。うまく雫にとじこめられているのも良いです。

<改善点>

メインである雫より緑の茎が目立ってしまっているのが残念ですね。もっと雫の中のディテールをはっきりさせてあげるか、茎の存在感を弱めてあげるかすれば良いでしょう。茎がまっすぐすぎるのも存在感

が強すぎる原因のひとつかなと思います。

026 『秋だー！』 みなみ

<良い点>

太陽光がしっかりと当たっている子供さんの表情がたまりませんね。落ち葉で敷き詰められたロケーションも素敵です。

<改善点>

子供さんの足が見切れてしまっているのが残念です。ちゃんと写し込むことで足で地面に立っている様をしっかりと表現してあげましょう。舞っている落ち葉が後ろの木に被ってしまっていて舞っている感が伝わりにくいので、できるだけ背景と被らないように撮影して舞っている感をしっかり出してあげましょう。

027 『リフレクション』 みなみ

<良い点>

揺らぎのないリフレクションにすることで、海と対峙する子供さんの存在感がより増して力強さが出ていると思います。海と空だけのスッキリした背景のおかげで全体の印象も伝わりやすいですね。

<改善点>

可能ならさらに近づき、もっと下からのアングルで大胆にこの世界を表現してはどうでしょうか？より「奥深さ」が出ると思いますよ。

028 『ふゆにあえるともだち』 みなみ

<良い点>

子供さんのこの表情、反則ですね。これには誰も逆らえません。子供さん、雪だるま、背景、全てにおいて露出が良いため、このシチュエーションをしっかりと感じられます。

<改善点>

もう少し下にも空間があったほうがより安定感が出て良かったかなと思いました。あとは全体的にちょっと平面的な感じがしますので、もっと下からとか大胆なアングルで撮影してあげると面白かったかなと思います。

029 『空に舞い上がる白鳥』 瑛太

<良い点>

噴水の水の動きが面白く、見入ってしまいますね。良いシャッタースピードで撮影できていると思います。

<改善点>

メインである噴水の上の像が見切れてしまっているのが残念ですね。しっかり入れてあげ、かつ少しの空間を残すことで存在感が強まりますよ。また右の建物や前ボケの鉢の入れ方はメインの良い引き立て役にはなっていないので、無理に入れなくても良かったかなと思いました。もし入れるなら鉢は花だけを柔らかく優しく入れてあげるとか、建物は噴水から流れ出る水の奥に配置してみると面白いかもしれませんね。

030 『フラミンゴハート』 瑛太

<良い点>

ほぼみんなが左を向いているのに、一羽だけ右を向いている。その子をメインに持ってこれているのが面白いと思いました。

<改善点>

メインの子の眼にもっとしっかりピントを合わせるとより生命感が強くなると思います。また他の子の中に顔が白トビしてしまっている子がいて表情が分からなくなってしまうので、白トビさせないように撮影してあげた方が良いでしょう。あと背景の少しノイズが感じられるので、それを軽減させてあげるような撮影または編集をした方が良いでしょう。

031 『フラミンゴパレード』 瑛太

<良い点>

背景にたくさんの仲間たちが配置されている点、さらにその奥の緑にも光が当たっていて、全体にとってもまとまった雰囲気を感じられるのが素敵ですね。

<改善点>

メインの子のピントが少し甘いのが残念なのと、目の先の白トビも少し気になります。またメインの子の位置が左上すぎてアンバランスなので、もう少し今より右下に配置できると構図が安定すると思います。

032 『き！！！！！！』 雄太

<良い点>

あまり見たことがないような木の幹がとても不思議な感じがして面白い作品ですね。構図のバランスも良く、ここを見て欲しいと言う意図がしっかり伝わってきます。

<改善点>

どうしてもインパクトに欠ける被写体なので、もっと思い切って大胆なアングルで表現してはどうでしょうか？例えば縦構図にしてさらに今よりもっと真下からのアングルで撮って、木の幹の上まで見せるとかやってみるとさらに面白くなるかもですね。

033 『だいすき』 雄太

<良い点>

奥がしっかり抜けた明るい背景にできているおかげで、一生懸命被写体と向き合っている雰囲気がしっかり伝わってきますね。偶然かもしれませんが花と服の色が同系色なのも全体の雰囲気がまとまっていて良いと思いました。

<改善点>

この子が何を撮っているのかがもう少しはっきり分かること、そして真剣に撮影しているこの子の表情がもう少し分かる角度で撮影できれば、より写真から深いストーリーを感じられたかなと思います。

034 『らぶらぶなかよし』 雄太

<良い点>

二羽がしっかり向き合っていて、仲睦まじい雰囲気が伝わってくる、優しい作品ですね。

<改善点>

左の子の眼と同じくらい、右の子の眼にもしっかりピントが合っていると、より二羽の存在感が強く出て良かったと思います。またこの位置からではどうしようもありませんが、手前の木の存在感が強すぎて二羽の印象が弱くなってしまっているのが残念ですね。

035 『びよ〜〜ん!!』 雄太

<良い点>

太陽光を浴びている花びらの露出がとても良く、陽の光の暖かさを感じられる一枚ですね。

<改善点>

左下の前ボケが少しやかましく存在感が強すぎるので、もう少し入れる量を調整してあげると良いと思います。空の色が若干マゼンダかぶりしているので、本来の青をしっかりと表現してあげましょう。

036 『もりもり!』 雄太

<良い点>

順光で撮影しているため、そのものの持つ本来の色がしっかり出ていて美しい色合いになっていると思いました。空の色も濃く良いですね。

<改善点>

構図に不安定さを感じます。一番見てもらいたい部分（写真中心のやや上あたり？）を今よりも少し左下に配置できると安定したかなと思います。一番したの前ボケの花は主張が強すぎるので入れない方が良いでしょう。

037 『緋寒桜』 miyabi

<良い点>

強い色味ながらディテールもしっかりと表現できているメインと、ありそうでない感じの不思議な色味の背景がマッチしていて面白い作品ですね。

<改善点>

下の空間が広すぎるとメインの上が見切れていることで全体的にやや不安定さを感じます。そこが改善できるとよりずっと見てもらえるようになったかなと思います。

038 『ピュア』 miyabi

<良い点>

メインの黄色の主張がしっかりと伝わってくるのが良いですね。また下の雫たちも良いアクセントになっていると思います。

<改善点>

わざとなのかもしれませんが、どこにもピントを合わせていない作品として仕上げたのなら、もっと全体をボカすべきだったと思います。もしピントをメインの黄色に合わせつつもりならもっとしっかり合わせましょう。

039 『咲いたよ。』 miyabi

<良い点>

露出が良く、花びらに透明感があって、見ていてとても清々しい一枚ですね。

<改善点>

ピントは花びらではなく、手前か二番目くらいのシベに合わせた方がより生命感が出たかなと思います。ちょっとこのままだと前ボケがややうるさく感じますね。あとはメインの花びらの上は見切れさせずにしっかり入れてあげるとより存在感が強ク出せたかなと思いました。

040 『雨上がり』 miyabi

<良い点>

背景の玉ボケが優しく、とても良い雰囲気が出せていると思います。雫の配置も変化が感じられて面白いですね。

<改善点>

雫自体がふんわりしすぎているので、印象が弱いのが残念です。パッと見は全体的に良い雰囲気が感じられるのですが、しばらく見ているとどこかこう不安定さを感じ始めてきてしまいます。もう少ししっかりメインの雫を表現できれば良かったかなと思いました。

041◎ 『麗らかな昼下がり』 Kei

<良い点>

花びらの色トビや背景の青がマゼンダかぶりしているのが、逆にこの作品の良さを出しています。これを意図してやっていたとすれば、とても素晴らしい技術だなと思いました。被写体の特徴を考慮して縦構図にしているだけでなく、枝の配置も良く奥行きも感じられます。とても素敵な作品だと思いました。

<改善点>

細かなところですが、右上かどのピントが合ってしまった部分とやや枝の茶色の強すぎる所、写真中心上の切れた枝の断面が写っている所が不要でしたね。そこをうまく切り取ればさらに良くなると思いました。

042 『ここに咲く透き通る程の眩さ』 Kei

<良い点>

必要な部分だけを入れ、不要な部分は一切入れない、そして背景を単調すぎず複雑すぎずメインをしっかり引き立たせるようにする。露出や色味も申し分なく、お手本のような良い作品だと思います。

<改善点>

一つだけ気になるのが、ピントを合わせた花の上にある、こっちに向かって開いている花のボケ味が強すぎる所ですね。やってみないと分かりませんが、逆にこっちにピントを合わせた方が良かったのかなと思いました。

043◎ 『彩り』 Kei

<良い点>

被写体の表情がしっかり伝わってくるだけでなく、羽や周りの花たちの色合いもとても美しく表現できていし、構図も安定感が合って素晴らしい作品に仕上がっていると思いました。

<改善点>

やや写真の下の方が重く、上の軽さに比べてバランスが悪いので、少しだけ下の部分をトリミングしてあげるとさらに良くなると思います。

044◎ 『バランス』 Kei

<良い点>

雫がとても美しく表現できていて、その雫をずっと見ていたくなりますね。背景の色の变化もとても良いアクセントになっています。

<改善点>

雫の位置がちょっと不安定なのが残念かなと思いました。右下角の斜めの部分も少しやかましく感じますので、それを踏まえて写真下の部分を少しトリミングしてあげると安定感のある構図になったかなと思います。

045 『春色の若葉』 Shimon

<良い点>

これも雫がとても美しく表現できていて素晴らしいですね。右側の冷たい感じの背景が雫ととても合っていて素敵だなと思いました。

<改善点>

左側にもたくさん雫があって、それも入れたくなってしまう気持ちはとても良く分かるのですが、どうしてもそれがあるおかげで視線が迷ってしまい、メインが弱く感じてしまいます。ここは思いきって、写真の左4分の1くらいを切り取って試みてはいかがでしょうか？それくらい大胆な方がインパクトのある作品に仕上がるかなと思いました。

046 『さくら色に染められて』 Shimon

<良い点>

クローズアップする部分が絶妙で存在感が抜群の一枚ですね。背景もそれに負けないくらい、かつメインの邪魔を決してしないギリギリの強い色味にできているので、メインをパーフェクトに引き立てられていると思いました。

<改善点>

メインの花の前ボケの大きくて黄色いシベがどうしても気になってしまいますね。主役の存在感を弱めてしまっています。ここに思い切ってピントを持ってくるか、持ってこないならこのシベの印象をいかに弱くするか、それがこの作品の良し悪しを左右する大切な部分になってくると思いました。

047 『私を見て』 Shimon

<良い点>

白の中に鮮烈な紅、非常にインパクトのある作品ですね。左上の陽の光も良いアクセントになっています。

<改善点>

左側の白トビはメインを活かすためになっていますが、流石に右側の白トビは量も広すぎてやかましく感じますね。右側をもう少しトリミングしてあげることで、右側の白トビもメインを活かすためのものにな

り得ると思いますので、ぜひやってみてくださいませ。

048 『燃える秋』 Shimon

<良い点>

背景にも紅葉のディテールが感じられて、奥深さをしっかり出せていると思います。メインの配置も立体感が出ていてとても良いですね。

<改善点>

葉の先が傷んでいるのが残念です。どうしてもそこに視線が持っていかれてしまいます。しっかりロケハンをして美しい葉を選ぶのも大切な作業です。

049 『ピンク・ポインセチア』 初日

<良い点>

桃色と紅色、2色の共演が美しい一枚ですね。バランスも良いのでどちらの色の美しさもしっかり伝わってきました。

<改善点>

「何を見て欲しいのか?」「何を伝えたいのか?」が分かりにくいのが残念ですね。そのためにはどこにピントを合わせ、どれくらいボケ味を作れば良いのかを考えて撮ってもらえるとより良い作品になるのではと思いました。

050 『冬の花壇のお嬢さん』 初日

<良い点>

お花の表情がよく分かって、感じの良い一枚ですね。良い角度で撮影できていると思います。

<改善点>

左右のボケが少し主張が強すぎてメインを邪魔してしまっていますね。下に同系色のボケもあることで、右の黄色のボケは入れないようにして、左の白いボケは少なめにしあげると良かったかなと思いました。あと後ろのノイズも少し気になるので改善してあげましょう。